

この度、秋田内陸線の松葉駅の魅力度を上げようと、仙北市と連携協定を結んでいる秋田公立美術大学の学生が駅舎をデザインし、そのリニューアルお披露目会が7月24日に開催されました。



児童たちは実際にまち歩きをして、景観について学習を深めました。

これは、田沢湖の最寄り駅として、観光客の旅気分を盛り上げ、地域の方々にも快適に利用してもらおうと、仙北市と内陸線連携協議会が同大にデザインを依頼したものです。

駅舎の外側は、利用者や地域の人々が風景とともに記憶に残している元の姿のままとし、旧国鉄時代を再現した駅名標がデザインされました。また、内装は県産材を使用し、温かみのある駅舎に生まれ変わりました。

お披露目会には秋田内陸線を守る会など地域の方々も参加。同大のほか、工事にご協力をいただいた(有)高橋鉄工所など5社に、秋田内陸縦貫鉄道の吉田裕幸社長から感謝状と記念品が贈呈されました。



楽しみながらSDGsを体感。

これからの仙北市がSDGs未来都市として、市民と行政が協働しつつ、誰もが安心して住み続けたいと思えるまちとなっていくことを期待します。

7月17日、市民会館の自主事業として、フリーマーケットやキッチンカーの出店、eスポーツ体験ブースが設けられるなど「市民会館の活用を考えてみたらこんなことをやってみようと思った件」が開催されました。

当日は、雨が降ったりやんだりの天気で、市民会館ロビーでの開催となりましたが、たくさんの親子が会場を訪れていました。



大澤市民福祉部長(左)からサダさん(中央)にお祝いが贈られました。

当日は、家族の皆さんが集まり、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。

秋田内陸線松葉駅がリニューアル

秋田公立美術大学の学生がデザイン

この度、秋田内陸線の松葉駅の魅力度を上げようと、仙北市と連携協定を結んでいる秋田公立美術大学の学生が駅舎をデザインし、そのリニューアルお披露目会が7月24日に開催されました。

これは、田沢湖の最寄り駅として、観光客の旅気分を盛り上げ、地域の方々にも快適に利用してもらおうと、仙北市と内陸線連携協議会が同大にデザインを依頼したものです。

デザインは、美術学部美術学科2年生2人と景観デザイン専攻3年生2人が担当。昨年の秋頃からデザインの作成に着手、地域の様々な情報を収集するなどして、コンセプトを決めていったとのこと。



リニューアルした駅舎の前で。



県産材が使用された駅舎内には工事の様子や写真が展示されています。

市民会館自主事業



eスポーツの体験ブースでは親子で体験する姿が見られました。

市民会館の活用を考えるとこんなことをやってみようと思った件

7月30日、第50回たざわ湖・龍神まつり湖畔賑わう3年ぶりの開催に

第50回たざわ湖・龍神まつり

3年ぶりの開催に湖畔賑わう

7月30日、第50回たざわ湖・龍神まつりが田沢湖畔・イベント広場を会場に新型コロナウイルス感染症対策のもと、開催されました。

3年ぶりの開催となった今年、会場にはキッチンカーによるグルメ広場が設置され、湖水浴に訪れた方々が来場するなど賑わいを見せました。

ステージショーでは、田沢湖の再生を考えるトークイベントやわらび座の「龍が住まう湖」の舞台のほか、仙北市地域おこし協力隊の岩見谷慎太郎さん(DJ SHINTARO)によるDJが披露され、聴衆を魅了しました。

最後は、創立50周年を迎えた大曲青年会議所とのコラボレーションによる水中花火がおり祭りを締めくくりました。



会場には龍みこしの頭部分が設置されました。



辰子姫伝説の物語「龍が住まう湖」。



会場にはキッチンカーが立ち並びました。

仙北市景観づくり市民会議

角館小学校で景観学習教室



景観について説明する北原啓司特任教授。

「は見るとも書きますね。どう違うでしょう」と問いかけると、児童からは「見るはただみること、目に見えること、目に見えないことを凝らせてみることで、心で感じる」と答えるなど、声が上がりました。

この後、児童たちは5人ほどのグループに分かれてまち歩きを行い、自分が好きだなと思うところ、いやだなと思うところを写真に撮りました。

安藤会長は、「この景観学習を通じて、自分たちの住んでいる地域に興味や愛着をもち、そのよさに気づき、この町並みを未来へ繋いでいきたいと思います」と語りました。

カードゲームでSDGsを体感 ワークショップを開催

7月27日、角館庁舎で「子どもも大人もゲームで体感！SDGsワークショップ」が(一社)仙北市農山村体験推進協議会の主催で開催されました。SDGsカードゲーム「ゲット・ザ・ポイント」の認定ファシリテーター村井淳さんが講師を務め、14人が参加しました。

このゲームはテーブルを囲み、資源カードを使ってアイテムを作成。アイテムごとに設定されているポイント数を競うシンプルなルールで、子どもも大人も楽しく遊びながら、SDGsの中心にある考え方、理念について学ぶことができるものです。

参加者からは「最初はSDGsが何かわからなかったけどこのゲームをやって話をして色々な事がわかった」「限られた資源の大切さを改めて感じた」といった感想がありました。

これからの仙北市がSDGs未来都市として、市民と行政が協働しつつ、誰もが安心して住み続けたいと思えるまちとなっていくことを期待します。

7月25日、千葉サダさん(田沢湖漁)が100歳の誕生日を迎えられ、お祝いが行われました。

当日は、家族の皆さんが集まり、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



**学校バックアップ事業**

学校は、地域の方からたくさんサポートをいただいております。その一つに「学校バックアップ事業」があります。現在およそ70人の方に登録いただき、サポートいただいております。

西明寺小学校5年生の家庭科をサポートしてくれたのは、佐藤よしこさんと高橋新子さん。最初に「波縫い」を見せてもらい、子どもたちがトライしました。うまくいかない場面では、丁寧にアドバイスしてもらい、できるようなった子どもたちはうれしそうでした。

サポーターの方々は「おらほの子ども」をよく知っており、心からの愛情を注いでくれます。子どもたちは、そんな「おらほの大人」を信頼し、笑顔で取り組む関係は、仙北市の財産です。地域の皆さんの支援は、学校にとって大変心強く、皆さんのおかげで、子どもたちの「知・徳・体」は一層育ちます。今後も、ご支援をよろしくお願ひします。

次に、当日の感想を紹介いたします。



丁寧にサポートしてくれます。子

7月6日と7日の両日、西明寺中学校の2年生16人が、市内10か所の事業所に分かれて、職場体験活動を行いました。初日の朝は緊張した面持ちの生徒たちでしたが、二日目になると、働く様子はもう一人前です。普段の学校生活とは違った経験を、生徒たちは様々なことを学び取ったようでした。

当日の感想は次のとおりです。



西木調剤薬局の様子。

2年齋藤いちかさん

私は、普段は学ぶことができない体験を通して仕事の大切さがわかりました。地域のために仙北市観光文化スポーツ部の方々は多くの工夫をされていました。今回学んだことを生かして日常生活に役立てていきたいです。

2年小松悠人さん

秋田土産物館営業所での職場体験では、タイヤ外しや洗車など、とても楽しく、貴重な体験をすることができました。この体験を通して、仕事の楽しさや仕事をするうえで大切なことをたくさん学ぶことができてよかったです。

**第71回秋田県中学校総合体育大会の主な結果について**

7月9日、10日並びに16日から18日にかけて、第71回秋田県中学校総合体育大会が開催され、市内各中学校の予選を勝ち抜いた選手が活躍しました。上位大会への出場権を獲得した選手は次のとおりです。※敬称略



上位大会でも頑張ってください！

- 剣道：男子団体 準優勝 角館中学校  
男子個人 優勝 小野翔（角館中学校）  
女子個人 第3位 畠山凜穂（生保内中学校）
- 水泳：男子50m自由形 第3位 菅原康太郎（角館中学校）  
男子100m平泳ぎ 第4位 菅原康太郎（角館中学校）  
男子100m背泳ぎ 第3位 木元晴樹（西明寺中学校）
- ソフトテニス：女子個人 神代中学校 第5位  
高倉美優・齋藤ひなたペア
- 陸上競技：1年女子100m 第4位 伊藤柚音（角館中学校）
- 柔道：女子個人70Kg級 準優勝 佐藤亜耶希（神代中学校）  
男子個人60Kg級 第3位 田口悠歩（神代中学校）  
男子個人90Kg級 第3位 藤村世海（神代中学校）  
男子個人90Kg級 超級 第3位 津嶋来央（神代中学校）



心豊かな教育文化のまち

《仙北市教育委員会だより》

**菊田大雅さん**

玉結びのやり方や針に糸を通す裏技を、わかりやすく教えてくださいました。おかげでできるようになりました。うれいいます。

**佐藤呼幸さん**

本返し縫いや半返し縫いの仕方を近くでアドバイスしていただきました。わかりやすく丁寧に教えてくださり、うまく縫い物ができるようになりました。

**情報モラル教室**

7月6日、生保内中学校で情報モラル教室が行われました。講師は文部科学省学校教育の情報化に関する懇談会元委員の千葉薫さんです。講演の内容をダイジェストでお知らせします。

**インターネットの利用に関する問題・トラブル**

- ① ネット依存/高校生の60%が依存症予備軍といわれている。やめられない「起きれない」「生活リズムの崩れ」
- ② ネット被害・加害/被害者にも加害者にもなり得る。「安易な書き込みは非常に危険」「特定

される「誘い出し」「偽情報」

- ③ ネット上のいじめ/現在オンラインゲームが最大の原因となっている。「常軌を逸した行動」

**子どもたちを守るために大切なこと**

- ① 話し合ってルールを決める・家族のスマホ使用時間を減らす
- ② 子ども利用状況を適切に把握する
- ③ リアルの生活を豊かにすること

**千葉薫乃さん（2年生）**

今回の講演で、実際に会って話をした方が、電話やメール（文字）で伝えるよりも気持ちが伝わりやすいということをおぼろげに確認できました。インターネットは、とても便利な反面、

危険な面もあるので、これからはもっと気をつけて使っていきたいということを感じました。危険なサイトは開かない、知らない人とはやりとりをしない、ということをおぼろげに覚えていきたいと思います。

**ワンポイント**

万が一トラブルがあった場合は、子どもが誰にでもいから、「困っている」と言えることが大切です。しかし、子ども同士での相談はトラブルを複雑にしてしまつてしまいます。困ったときは、周囲の信頼できる大人に相談するように信頼関係を構築しておくことが大切です。

**第71回 秋田県中学校総合体育大会 剣道**

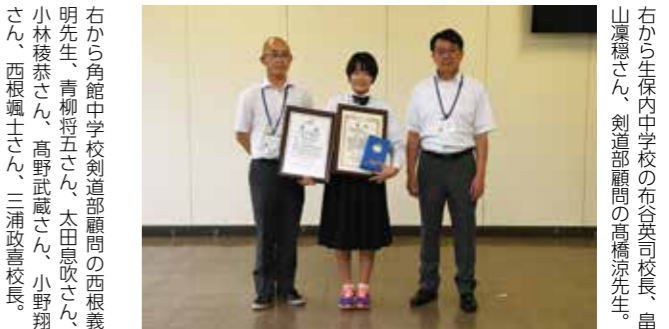
男子個人 **小野翔さん**（角館中・2年）が**優勝**  
女子個人 **畠山凜穂さん**（生保内中・3年）が**第3位**  
男子団体 **角館中学校**が**準優勝**

7月9日、10日に秋田県立武道館（秋田市）で第71回秋田県中学校総合体育大会の剣道が開催され、男子個人に出場した角館中学校の小野翔さんが優勝、男子団体でも同校が準優勝に輝きました。また、女子個人では、生保内中学校の畠山凜穂さんが第3位と健闘しました。

全国大会への切符を手にした小野さんは「目標は全国優勝、最低でも3位を目指したい。でも、先のことはあまり考えず



一戦一戦集中して頑張りたい」と力強く話しました。また、畠山さんは「全県大会では惜しいところで負けてしまい、決勝に進むことができなかった。東北大会では1試合でも多く勝ち進めるように頑張りたい」と話しました。小野さんが出場する全国大会は北海道釧路市で8月19日から、畠山さんと角館中学校男子団体が出場する東北大会は山形県山形市で8月8日から開催されます。



右から生保内中学校の布谷英司校長、畠山凜穂さん、剣道部顧問の高橋涼先生。

**全農杯 全日本卓球選手権大会 バンビの部（小学2年生以下）**

**小野冬馬さん（検木内小・2年）が**出場****

7月28日、グリーンアリーナ神戸（兵庫県神戸総合運動公園）で開催された「全農杯 全日本卓球選手権大会」のバンビの部にて、所属する小野冬馬さんが秋田県代表として出場しました。同部には全国予選を通過した162人が出場。日頃の練習の成果を十分に発揮することができ

ましたが、全国の壁は高く、初戦リーグ戦で惜敗となりました。小野さんは「全国大会では1勝もできずに負けてしまった。頑張って練習をして、また全国大会に出場し1勝を目指したい」と話しました。この経験を活かし、今後ますますの活躍が期待されます。



出場した小野冬馬さん。

**9月18日[日] 第35回 田沢湖マラソン 交通規制のお知らせ**

※フルマラソンスタート 9:30 ~ 制限時刻 15:30  
※ペア・10km・20km マラソンスタート 10:00

3年ぶりに第35回田沢湖マラソンを9月18日（日）に開催します。参加ランナーの皆さまは、事前に抗原検査結果の提出などを参加条件とし、感染症対策に努めて開催します。当日は右図のとおり交通規制が実施されます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- 会場行き無料バス**
- ▶ 乳頭温泉発（7:10）、高原温泉発（7:30）
  - ▶ 田沢湖駅発（6:40、7:00、7:25、7:45、8:05、8:15、8:40）
  - ▶ 黒沢臨時駐車場、田沢湖レイクリゾート駐車場発（6:30～随時）
- 《お帰りは》田沢湖駅、黒沢臨時駐車場、田沢湖レイクリゾート駐車場行き無料バス
- ▶ 田沢湖畔公園入口バス停発（11:00～17:00 随時運行）
- 【お知らせ】**  
大会当日は、会場およびコース周辺が混雑します。駐車場にも限りがありますので、自家用車をご利用の方は、時間に余裕をもってご来場ください。混雑を緩和するため、皆さまのご協力をお願いします。
- 【問合せ】** 田沢湖マラソン事務局（仙北市スポーツ振興課内）  
☎43-1116

